

# 子宮がん・乳がん集団検診のご案内

## 婦人科検診を受けましょう

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がん（子宮内膜がん）があります。

子宮頸がんは、子宮口付近に発生することが多い病気です。年齢別にみた子宮頸がんの罹患率は、20歳代後半から40歳前後まで増加した後、緩やかに減少して、70歳頃再び増加します。近年、罹患率、死亡率ともに若年層で増加傾向にあります。

乳がんの罹患率は30歳代から増加し始め、50歳前後にピークを迎え、その後は次第に減少します。罹患率、死亡率ともに一貫して増加しており、出生年代別では、最近生まれた人ほど罹患率、死亡率が高い傾向があります。

どちらのがんも早期に発見することで治癒する確率が高くなる病気ですので、定期的に検診を受け、健康管理に心がけましょう。

### 集団検診（要予約）

▼実施日：10月12日(金)、13日(土)  
▼申込期間：9月19日(水)～25日(火)  
午前9時～午後5時（土、日除く）

検診年齢区分	検診項目	負担額
<b>子宮がん検診</b>		
20歳以上の方	子宮頸部細胞診	600円
<b>乳がん検診</b>		
20～39歳の方	超音波	600円
40～49歳の方	超音波+マンモグラフィ（2方向）※1	1200円※2
50～56歳の方	超音波+マンモグラフィ（1方向）※1	1200円※2
57歳以上の方	マンモグラフィ	600円

※定員になり次第締め切ります。  
▼会場：谷和原保健福祉センター  
▼申し込み方法：次のいずれかの方法でお申し込みください。  
①申し込み受け付け専用電話：☎25・2983（につこりつくばみらい）  
②谷和原保健福祉センター窓口  
※本人または同一世帯のみ受付可能。

※1マンモグラフィは被爆量を考慮し、2年に1回の受診となります。そのため、40～56歳の方で、前年度マンモグラフィを受診された方は、今年度は超音波のみとなります。  
※2超音波のみは600円  
妊娠中の方や乳房のしこり、不正出血などの自覚症状のある方は、市が実施する検診の対象になりません。直接、医療機関に受診してください。  
また、授乳中の方は、乳がん検診において、正確な検診結果が得られない場合があります。  
問 健康増進課（がん対策室）  
☎25・2100

## いのちの大切さを考えて

「うつ」を題材とした映画を上映します

全国の自殺者数は14年連続して3万人を越え、深刻な社会問題となっています。市では、茨城県地域自殺対策緊急強化事業として、自殺の要因として重要とされている「うつ」を題材とした映画『ツレがうつになりまして。』の上映会を行います。この映画をご覧になり、「うつ」についての理解を深めるとともに、いのちの大切さについても考えてみてください。

## 子宮頸がん予防ワクチン接種について

9月末日までに1回目を接種しましょう

「子宮頸がん予防ワクチン」の助成期間は平成25年3月31日までとなっています。  
接種を完了するには6カ月かかります。助成期間の間に3回を終えるためには、9月末日までに少なくとも1回目を接種するようにしましょう。

▼助成期間：平成25年3月31日までの接種分  
※市と契約している協力医療機関で接種した場合のみ、助成の対象となります。  
▼対象者：①接種日に中学1年生から高校1年生の女子（平成8年4月2日～平成12年4月1日生まれの方）  
②高校2年生の女子（平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれの方）で、平成23年度に1回目または2回目の接種を受けた方

▼接種場所：市ホームページ・健康管理予定表をご覧ください。  
▼接種方法  
1、子宮頸がん予防接種の申請（保護者の方）：印鑑（認印可）を健康増進課窓口へお持ちください。来所できない場合は、健康増進課へお問い合わせください。  
2、医療機関への予約  
3、接種：健康保険証、健康増進課で交付された予診票・済証をお持ちください。  
※医療機関に行く際は、保護者の方が同伴してください。  
▼接種費用：接種1回あたり、1590円の自己負担  
※生活保護受給の方は全額助成します。健康増進課にお問い合わせください。  
▼接種回数：3回

問 健康増進課 ☎25・2100

問 健康増進課 ☎25・2100